



2022年度6月号
社会福祉法人 尚徳福祉会
生麦保育園

新年度がスタートして環境の変化や大型連休を経て、子どもたちもすっかり園生活に慣れてきたように感じます。春から初夏、梅雨と季節が移り、気温・湿度が上がる汗ばむ季節となりますので、この時期から増える他の感染症や暑さ対策、健康管理など十分に気をつけるようにしていきます。子どもたちが心地よくすごせるように気温の変化をみて衣服の調節をおこなっていきますので、半そでと長そで両方のご用意をお願いいたします。

この季節は外に出られない日も多くなりますが、雨の合間にはテラスや園庭に出て気分をかえていきます。室内はマットの山やトンネル、体操のスペースなどをつくり、全身を使ってあそべる工夫をしています。



こどもの姿



- ある日のあひるぐみさん。お友だちが転んでしまい泣いているのを見て、近くに行き顔を覗き込み、頭をナデナデ。泣いていた子どもの周りに次々と集まってきて、みんなで「いたいいたいの、とんでいけー」をすると、泣いていたお友だちもニッコリ笑顔となりました。
- おままごとでのあひるぐみさん。お皿に食べ物をおせ保育者のところに運んできました。熱いかなあと話をすると、お口をつぼめ“フーフー”して「どうぞ」。保育者が『おいしいね』と声をかけると、かわいい手でほっぺたをポンポンとしていました。

いちご制作

ぐるぐる、かきかき、とんとんと話をしながら、好きな色のクレヨンを手に取り画用紙に素敵な模様を描いていました。その紙を丸く切り緑色でヘタを付けるととても美味しそうなおいもちができました。部屋の中に飾ると、自分のマークを見つけ指をさして、いちごを指でつまむ真似をして「すっぱいね」「あまいね」と言っていました。

初めての散歩に出かけました

立ち乗りバギー2台にみんなで乗り、順番で保育者と手をつないで歩いて、保育園の周りを一周して来ました。道で会った人や犬や見かけた鳥にバイバイと手を振りとても嬉しそうでした。花壇の花を見て「きれい」「あか」「いいにおいー」とかわいい言葉が聞こえてきました。見るものすべてにキラキラの瞳の子どもたちでした。また、行こうね！

先日のクラス懇談会にご参加をありがとうございました。これからも、ご家庭での様子を伺いながら、子どもたちに楽しい保育を心がけていきます。些細なことでも、気になることがありましたら声をかけていただけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。